

## 大学構内の二つの郵便局

名大の構内には、東山キャンパスに「名古屋大学内郵便局」、鶴舞キャンパスに「名古屋大学病院内郵便局」という二つの郵便局があります。日本郵便のデータベースによると、全国でも「～内郵便局」という名称の郵便局（簡易郵便局を除く）がある大学は僅か20しかなく、1大学に複数あるのは名大のほか、阪大、金沢大だけです。

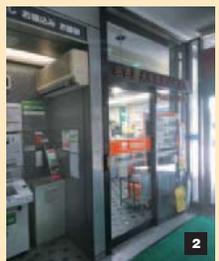
歴史が古いのは鶴舞の方です。名古屋帝国大学創立後、間もなくの1939(昭和14)年8月21日に設置されました。名称は当時から「名古屋大学病院内郵便局」です。「帝国」が付かないのは、名古屋の大学病院内の郵便局という意味のためようです。当時、東北帝国大学医学部附属医院内にあった郵便局も、「仙台大学病院内郵便局」でした（現在は「東北大学病院内郵便局」）。

東山キャンパス内に郵便局が置かれたのは戦後になってから、ちょうど医学部以外の学部が東山への集結が終わった頃です。まず、1965(昭和40)年10月の学

部長会で、理学部長が学内に郵便局を設置することを検討するよう要望しました。その後、たまたま名古屋郵政局及び郵政互助会から、名大の東山キャンパスの土地を借りて特定郵便局を設置したい旨の申し入れがありました。これが1967(昭和42)年1月の整備委員会で議論され、直後の評議会で承認されました。整備委員会の記録によると、名大が郵政互助会に土地を貸し付け、建物は同会が建築する形を取るとされています。

名称については、当初は「不老郵便局」とされていましたが、大学内にあることが分かるようにしてほしいとの要望が整備委員会で出たため、関係当局に申し入れることになりました。その後、「名古屋大学内郵便局」と「名古屋大学構内郵便局」の2案が有力になり、前者が採用されました。

そして同年12月6日、名古屋大学内郵便局が設置され、場所も当時のままに現在に至っています。



- 1 名古屋大学病院内郵便局の業務開始を報じる1939年9月発行の『名帝大医学部学生会報』の記事。同局は、大学内の郵便局としては、京都府立医大、京大、東北大に次ぐ古い歴史を持つ。
- 2 現在の名古屋大学病院内郵便局。名大が医学部附属病院西棟1階の約100.6㎡のスペースを日本郵便東海支社に貸し付けている。
- 3 名古屋大学内郵便局が設置された当時の東山キャンパス（1969年頃）。矢印の建物が郵便局。
- 4 現在の名古屋大学内郵便局。名大が約173.4㎡の敷地を日本郵便東海支社に貸し付けている。左に隣接する建物は情報基盤センター（旧大型計算機センター）。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

### 名古屋大学基金のご案内



名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office (DO室) あて（電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp）をお願いいたします。  
詳しくはホームページをご覧ください。  
名古屋大学基金 <http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/> アクセスはこちら▶

### 特定基金

名古屋大学基金の中には、研究推進や人材育成など、支援目的を特定してご寄附いただける事業もご用意しております。

工学	ベンチャー	青色LED	医学未来人材	アジア法律家	病院	女性リーダー	図書館
経済100周年	修学支援	ジェンダー	農学	保健医療リーダー	IT&M	附属学校	創薬
PHD自衛門	理学	教育70周年	博物館	減災館	文学75周年	数理科学	医学150周年